

これは Google に保存されている <http://npo-work.com/web/modules/xpress/?p=88> のキャッシュです。このページは 2014年6月22日 10:13:35 GMT に取得されたものです。そのため、[このページの最新版](#)でない場合があります。 [詳細](#)
ヒント: このページで検索キーワードをすばやく見つけるには、**Ctrl+F** または **⌘-F** (Mac) を押して検索バーを使用します。

[テキストのみのバージョン](#)



Go TOP

ND コミュニティ [本文へジャンプ](#)

[[文字拡大](#) | [配色反転](#) | [初期](#)] 本文はじまり

[インタビュープレス](#)

キーパーソンインタビュー

« [堆肥製造研究者 梅島忠好 氏](#)

[くましる昭彦氏インタビュー](#) »

(社)あしたの会最高顧問(前理事長) 安江肖五様

2009年3月10日

あしたの会設立前からのメンバーである安江氏をはじめ多くのかたの40年以上の活動は、容易に文章で表せるようなことではありません。事実、安江氏のインタビューは、4時間半におよび、まだまだお話しはとても興味深く、感動的な熱い時間でした。あしたの会が重ねあげた何層もの時間の、その一枚一枚に思いをはせていただければと思います。



安江さん

社会福祉法人あしたの会

最高顧問(前理事長)

安江 肖五 様

Q 会発足の頃のお話しを思い出せますか？

A 「岐阜県言語障がい児を持つ親の会」は昭和44年に発足しましたので、40年がたちます。10年おきに本にしてきまして今冬に4冊目が発刊されました。
そのころ、障がい児は、養護学校、今でいう特別支援学校にたくさんいました。しかし、卒業しても行く場がありませんでした。33年程前になりますが、すでに他界されています岐阜大学の「柚木 馥 名誉教授」がやってみえた、「日曜作業所・サマースクール」という活動がありまして、いっしょに活動していた理解ある人たちと、親たちが集まりまして、「障がい児の自立を図る あしたの会」が発足しました。
『今、どうすることも出来なくても、明日への希望を持った生活・夢のある明日を願う気持ちでいよう』という気持ちから「あしたの会」と命名されました。皆で40年間勉強しあってきたんです。そうして、私も入れて、私も入れてと、悩みを分かち合いながら集まっていきました。

Q 施設設立へ動き出した頃についてお話しただけないでしょうか？

A 北海道に明治時代に開かれてから、ずっとつづく共同作業所がありました。今もあります。私たちは、そこを訪問させていただきました。家庭的なところで、『あんなふうに子供たちに生活を楽しませることが出来たらいいね』と、しみじみ思ったものでした。ひとつずつ、障がい者施設建設へ動きが始まりましたが、建設は容易なことではありませんでした。
建設認可がとれても、建設予定地域周辺の住民のかたから反対運動が起きたこともありました。「障がい児たちが騒音をあげるのではないか」「健常児に迷惑をかけるのではないか」など、いろいろ反対意見が出てきました。私たちは、毎週毎週、公民館をお借りし地域のかたとお話しし、理解を深めていただきました。結果、窓ガラスを2重にすることや、騒音デシベルを測ってゆくことなどを承諾して建設を認めていただいたところもありました。
今では、そういった地域だったところでも、施設のバザーを開かせて頂いたり、バザーの日の朝は、農家の方が自主的に朝市まで開いていただけ、ほんとうに深く協力いただいております。

設立する前に、地域のかたとよくお話しし、スムーズな理解のうえに成り立つようにしてゆくことはとても大切なことです。あしたの会は、その後も、お話し合い理解していただくという基本姿勢を変えずに努力してきました。

「あしたの会」はまた、心ある知人から、建物があるので使わないかというお話しや、農業小屋と土地を貸していただいて小規模作業所を始めたところもあります。

1997年7月に「社会福祉法人」の認可を受け、現在、入居施設・通所施設・ケアホームなど、12ヶ所、障がい者の地域生活を支えるための事業所を運営しています。

Q あしたの会は、大きな組織になり、陰になり日向になり、障がい者の生活に支えになっているわけですが、運営に関し特に重要な点を聞かせていただけますか？

A 施設運営には、難しい問題がたくさんあります。同じ障害であっても、人それぞれに皆違います。面倒をみてくれる職員の確保もとても難しいのです。はじめはやる気のある人でも、きつくて長くつづかない人もいます。体力的にも精神的にもたいへんな仕事です。福祉制度の中で成り立たせてゆくために、親さんに協力していただかなくてはならないところもあります。また、入居しているかたには、土日は家庭で過ごし、家庭の雰囲気をも十分に味あわせてあげたいと思っています。しかし、いっしょになって豊かな生活をつくろうと、がんばって協力いただける親さんもいますが、なかには、施設へ入れたままというかたもみえます。障害があっても同じ人間として一生をいっせいの楽しみを得て生きさせてあげたいと、心通い合うことも難しい場合があります。障がい児の親であっても障害を理解できないでみえるのです。生まれてきた限り、ほかの子供たちと同じように、喜び合える場を与えてあげたいという気持ちは、誰にもいつか通じることだと思っています。理解の和を拡げてゆきながらすすめることが大切だと思います。

Q 今後について、指導いただけないでしょうか？

A 平成23年度以降の障がい者福祉がどういった流れになってゆくのか考えることが必要です。今も施設に通えないでいる人も多くいます。小舎制を成り立たせ、家庭のかたがキーパーソンとなってゆけるような社会になっていって欲しいと思っています。「治療」と「養育」は違います。よく理解し、きめ細やかに、一人ひとりに合わせた養育が出来て、一人ひとりがそれぞれの目標を持ち、生活してゆけるようになっていって欲しいです。エチケットやマナーも身につけながら、希望を持って生きていけるようになっていってほしいです。よく話し合い、情報を交換し合い進めてほしいです。

Q いくつか課題をあげてみていただけないでしょうか？

A 障害の区分や等級は、複数の人で判断する必要があります。適した養育をうけるためにも間違っはならないんです。3歳から6歳の間で、その子の将来に影響を与える多くのことが固まってゆきます。関わる人は特に、そこが大切な時期であることをよくわかり、取り組んでください。

誰もがいつの日にかには、障がい者家庭の一員となるのです。また、ご自身かもしれません。でも、障害はその人の外から見たことであり、人の中身は皆同じなんです。

障害が重い軽いに関わらず健常の人とも同じ、なにを求めて生きているのかというと、「心の通い合いや、愛情を求めている」のだと思います。

人のことを他人事というのではなく、互いに生かしあうような教育。いろいろな境遇の人がいて、いろいろな人生があり、いろいろな接しかたがあることで、互いにたくさんのことに気づきあえるのです。障害と接することを通して得る豊かさもあります。

ノーマライゼーションという言葉があります。幼いうちから、障がい児と健常児はともに遊び、学び、分け隔てなく、ともに心豊かな社会を気づいてゆくようになれば、社会全体が豊かになるのではと思っています。

そうすれば、物的な面だけではなく、心から明るく支えてゆくことが出来る日が、必ず来ると思います。

Q 「障がい保険」という考えかたについてお聞かせください

A すでに福祉の先進国では「障がい保険」に近い考えかたがあります。社会について考える上でも、障害を負って生きることを考える上でも、意味のある考えです。地域で「障がい保険」を制度にしてみると、「どう社会が変化してゆくだろうか」皆さんも一度考えてみてほしいです。

Q あしたの会は、「組織を自らの手で作ってゆく」というメンバーの生きかただったとも思います。すでに他界されているかたの代弁といえますか、一言お願いします。

A 私たちは、ともに勉強しあってきました。互いにどうしたらいいのか学び合いながら生きてきました。共感していただける人が少しずつ増えてゆき、力のある人にも、ささやかに生きている人にも、地域の本当にさまざまなかたに支えられてきました。語りつくせない感謝を感じています。私たちは普通の人として、普通の家庭の人として生きることをずっと希望してきました。社会に難題は、山ほどあります。難題から逃げないで小さな力を結集して進めていってほしいと思っています。こうした私たちの思いは誰にも受け継がれてゆくことと信じています。組織が、大きくても小さくても、変わらないように思います。大きな希望を見失わないように、支えあいながら未来を作っていくってほしいです。あしたの会にかかわった、たくさんの人々の願いでもあります。

追記 2011.10.15



安江肖五さん(社 あしたの会最高顧問)の傘寿祝賀会。関の学校の子たちが「川の流れのように」を歌う時は涙してみえました。施設の利用者さんが記念品を渡しながら何度も「長生きしてください」と云うのを、うんうんと、そのたびに、うなずかれてみえました。感動の良い会でした。久しぶりの知り合いにも会えました。奥さんと隣の席でお話を聞かせて頂け、四国八十八か所巡礼を13日に終えられたそうです。

カテゴリー: [社会・福祉キーパーソン](#)

この投稿は 2009 年 3 月 10 日 火曜日 7:36 PM に [社会・福祉キーパーソン](#) カテゴリーに公開されました。この投稿へのコメントは [RSS 2.0](#) フィードで購読することができます。現在コメントは受け付けておりませんが、ご自分のサイトから[トラックバック](#)を送ることはできます。

コメントは受け付けていません。

インタビュープレス is proudly powered by [XPressEUC Ver.0.31](#) (included [WordPress 2.7](#))
[投稿 \(RSS\)](#) と [コメント \(RSS\)](#)

更新順

佐伯総合建設株式会社

空調ダクト清掃システム
Air-Conditioning
Duct Cleaning
(株)アイシージャパン

自分で止める！
雨漏りストップ材

中部有機システム有限会社
高品質堆肥製造実績

リハビリ・知育・世界遺産
ジグソーパズル
ジャンプ

BRIDGESTONE
ミスタータイヤマン
みのかも

情報設計の
(有)ピュアパルス

本物志向の人形専門店
橋本屋

有機肥料栽培・クリーン農法
お茶屋さんのお茶
株白川園本舗

歯科器材輸入販売
大信貿易株式会社

機械組付汎用購入品ネットワーク
メカコムネット
(株)名濃エンジニアリング

広告公募中

[広告ページへ移動](#)

npo-work.com

1